

## 完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成18年度～平成22年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	宗谷森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
完了後経過年数	5年	管理主体	宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の最北に位置する天塩川広域流域のうち、宗谷総合振興局管内の稚内市を含む1市7町1村（現在は8町）に所在する国有林約161千haの国有林を対象としている。</p> <p>本森林計画区は、利尻・礼文両島の地域と本島地域に大別され、利尻・礼文地域には、利尻礼文サロベツ国立公園があり、多様な森林群落等から保護林にも指定されている。また、絶滅のおそれが高い野生生物の生息・生育地やラムサール条約湿地が所在するなど野生生物の保護に対する要望が高い地域として適切な森林の管理経営が求められている。また、本島地域の猿払川や頓別川など多くの河川が下流都市町村の水源となっており、上流に位置する国有林の殆どが水源かん養保安林に指定されている。このことから道内有数の耕地面積を誇る大規模草地型酪農や多くの主要魚種を対象とした漁業など地域の基幹産業にも寄与しており、水源涵養機能の発揮と森林の持続的な管理経営が求められる地域である。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待や要請に応えるとともに、水源涵養機能の発揮や地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施した。</p> <p>・主な事業内容： 森林整備 更新 142 ha 保育 11,807 ha</p> <p>路網整備 開設 延長 15.5 Km</p> <p>・総事業費 1,256,631 千円</p>		
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成28年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>総 便 益 (B) 75,437,289 千円（事業採択時： 8,439,405 千円）</p> <p>総 費 用 (C) 5,077,366 千円（事業採択時： 1,065,673 千円）</p> <p>分析結果 (B/C) 14.86 （事業採択時： 7.92 ）</p>		
② 事業効果の発現状況	<p>・更新・保育によって11,949haの森林が整備されたことにより、水源の涵養や国土の保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>・開設によって15.5Kmの林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応したことで効率的な木材生産が図られた。</p> <p>・施業地まで自動車に対応できるようになり、効率的な森林管理の実施及び造林作業員の歩行時間の短縮や資材運搬等の経費の縮減が図られた。</p> <p>・雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。</p>		

<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備された森林の林況は、良好である。</li> <li>・路網整備された路線は、良好に維持・管理されている。</li> </ul>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備事業の実施により、山地災害防止や水源涵養など機能類型の区分に応じた森林が形成され、水源の涵養、山地災害の防止、炭素固定などの公益的機能が発揮されている。</li> <li>・路網整備事業の実施により、作業コストの縮減等が図られるようになり木材生産機能が形成されている。</li> <li>・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、保健文化機能を充実させている。</li> </ul>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>宗谷地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、産業では広大な耕地面積を背景に大規模な草地型酪農が展開されるなど道内有数の酪農地帯となっている。また、沿岸地域では道内の主要魚種の漁獲量も多くを占め、離島への観光資源など特徴を生かした産業により地域の経済を担っている。</p> <p>林業では、高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、森林施業に資する林道、林業專業道及森林作業道の有機的な連結により効果的な森林施業が展開されており、間伐等の推進が期待されている。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られたと認識している。今後も国有林と民有林で一層連携して森林整備を推進していただきたい。</p> <p><small>わつかない</small> (稚内市)</p> <p>森林整備事業の実施により、水源涵養機能等の森林の有する多面的機能の発揮を期待する。</p> <p>また、今後も森林の有する多面的機能が持続的に発揮するよう森林整備事業の継続を強く要望するものである。</p> <p><small>はまどんべつ</small> (浜頓別町)</p> <p>森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の持つ多面的機能の発揮を期待している。今後も、森林のもつ多面的機能が持続的に発揮できるよう事業の継続を要望する。</p> <p><small>なかどんべつ</small> (中頓別町)</p> <p>町内の国有林が占める割合が高い本町において、地球温暖化防止を目的とした森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価する。</p> <p>今後は、保健・文化・教育的な利用の提供を視野に入れ、森林空間を活かした総合的な整備も期待する。</p>

<sup>えさし</sup>  
(枝幸町)

森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の持つ多面的機能の発揮を期待しています。今後も森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう事業の継続を希望します。

<sup>とよみ</sup>  
(豊富町)

森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。また、本事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれるため、今後の同事業の継続を期待する。

<sup>りしり</sup>  
(利尻町)

町内の森林のうち国有林の占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施されたことにより、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと十分に評価する。

本町の基幹産業である漁業の振興に資する公益的機能の持続的発揮に今後も期待するとともに、近年発生している大規模な気象災害にも対応できる「気象災害に強い森林づくり」を展開して頂きたいことから、今後の同事業の継続を強く望むところであります。

<sup>れぶん</sup>  
(礼文町)

町内の森林のうち国有林の占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施されたと評価できるものである。

今後も同事業の継続と国有林の整備を要望する。

<sup>りしりふじ</sup>  
(利尻富士町)

町内の森林のうち国有林が占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものである。

今後も、同事業の継続と国有林の整備を要望する。

<sup>きるふつ</sup>  
(猿払村)

村内の森林のうち国有林が占める割合が高い本村において、森林整備が着実に実施された事は十分に評価できる。今後も同事業の継続と国有林の整備をお願いしたい。

森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の持つ多面的機能の発揮を期待する。今後も、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう事業の継続をお願いしたい。

森林管理局事業評価  
技術検討会の意見

本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。

評価結果

- ・ 必要性 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、沿岸部の漁業等に対する水質の保全に配慮した施業実施が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。
- ・ 効率性 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。
- ・ 有効性 本地域は、稚内市をはじめ、水産漁業、酪農、利尻・礼文島を中心とした観光業など、地域の基幹産業を担う重要な役割を担っている。  
このため、上流域の森林施業の在り方により受ける影響は大き

く、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られたことから、事業の有効性が認められる。

## 別紙様式7

整理番号2

## 便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業  
 事業実施地区名：宗谷森林計画区(そうや)  
 (都道府県名：北海道)

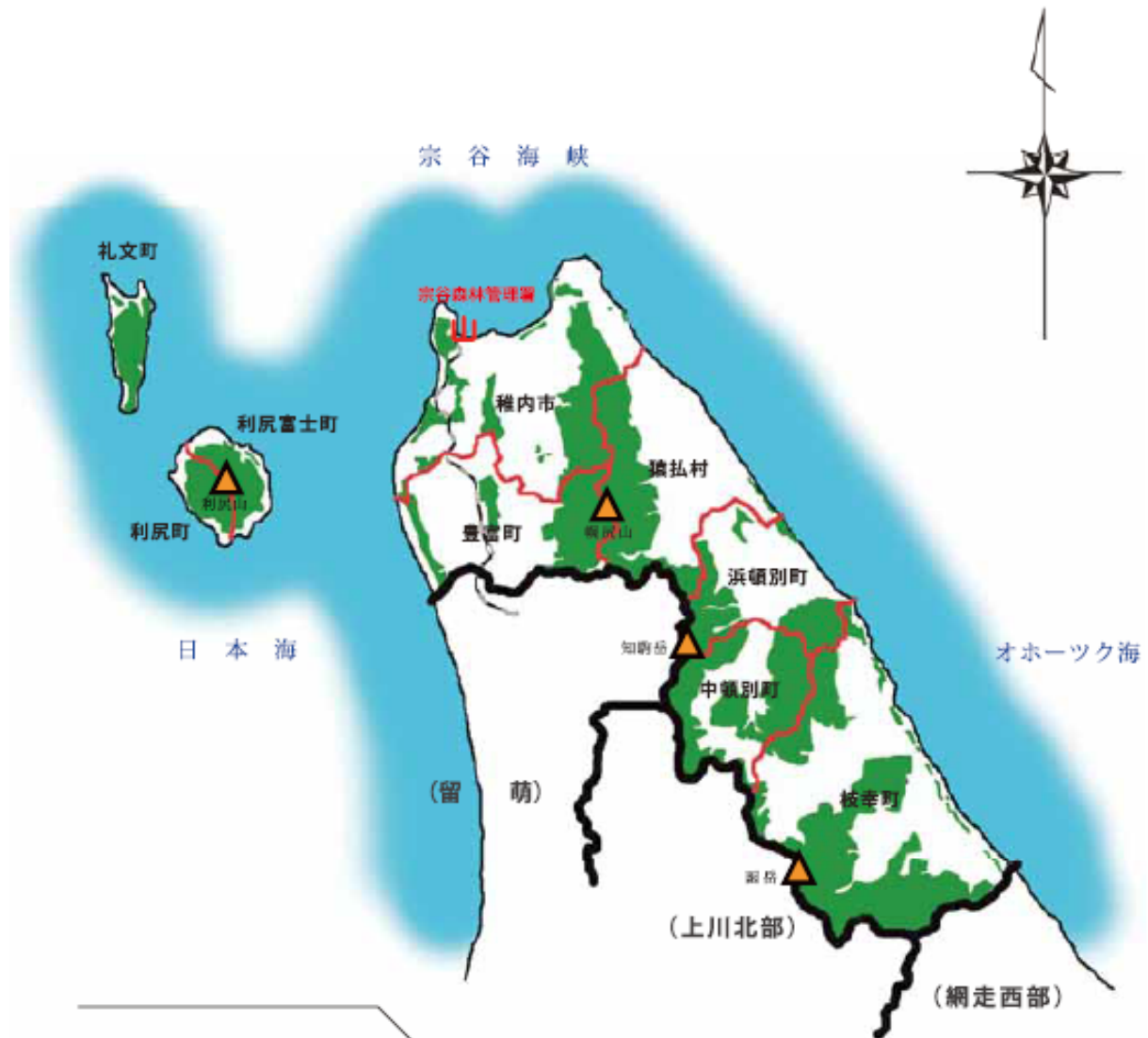
事業実施主体：宗谷森林管理署

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	13,573,367	
	流域貯水便益	5,840,644	
	水質浄化便益	12,847,509	
山地保全便益	土砂流出防止便益	28,501,033	
環境保全便益	炭素固定便益	7,933,010	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	134,594	
	木材利用増進便益	70,958	
	木材生産確保・増進便益	6,429,910	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	1,798	
	森林管理等経費縮減便益	19,823	
	森林整備促進便益	84,643	
総 便 益 (B)		75,437,289	
総 費 用 (C)		5,077,366	
費用便益比	B ÷ C =		14.86

# 28年度 完了後の評価 概要図

## 宗谷森林計画区的位置図



凡 例	
国 有 林	
主 要 山 岳	
鉄 道	
森林計画区界	
市 町 村 界	
森林管理署	